

■ H20年度新規導入開放機器のご紹介 ■

■ 全自動抗張力試験機

高強力な細線・ファイバー等の素材を、正確かつ迅速に強力・伸度測定が行えます。

自動で試料の装着・測定・交換が連続的にできるため、測定者による個人差が出ず、効率の良い安定した測定が可能です。

また、周期ムラの解析や、伸張回復等の測定も可能です。

メーカー：ウスターテクノロジーズ (株)

型 式：テンソラピッド4 (UTR4-C*1500N/DT)

主な仕様：

- ・ 負荷容量：1500N
- ・ 引張速度：50 ～ 5,000mm/min
- ・ 測定精度：1N以上 ±1.0%以内
1N以下 ±1cN以内
- ・ 移動距離：1,000mm
- ・ 初期加重：0.5 ～ 6,000cN
- ・ クランプ：標準クランプ
180° スペシャルクランプ
- ・ 測定項目：破断強力、破断時間、破断伸度、
破断強度、降伏点、弾性測定、
任意点強力と伸度 (10ポイント)
- ・ 対象試料：線状金属、高強力繊維等

料 金：880円/時間

(平成20年度 競輪補助物件)



■ マイクロスコープシステム

CCDカメラによる観察装置であるため前処理等を必要とせず、小型試料から大型試料まで、簡易に実体観察や寸法の計測ができます。



メーカー：ナカデン (株)

型 式：MX-1200 II

主な仕様：

- ・ 観察倍率：低倍率レンズ 30倍～320倍
高倍率レンズ 350倍～2700倍
- ・ ソフトウェア：
深度合成、3次元プロファイル計測
- ・ 計測機能：
2点間距離、面積、高さ測定など
- ・ 画像保存形式：bmp、jpegなど

料 金：590円/時間 (H21.4より620円)

(平成20年度 競輪補助物件)

■ 全自動表面張力計 (動的部)

接触角や界面張力の測定を自動化し、測定者の個人誤差を少なくできます。また、接触角の測定は、いくつかの動的な測定ができ、実際の生産工程等に対応した条件で、測定が可能です。



メーカー：協和界面科学 (株)

型 式：Drop Master 500 (DM500)

主な仕様：

- ・ 測定方法：滑落法、懸滴法、拡張/収縮法
- ・ 解析方法：

「滑落法」「拡張/収縮法」

真円フィッティング法、接線法、
楕円フィッティング法による自動
および手動解析

「懸滴法」

ds/de 法、Young-Laplace 法

- ・ 滑落角度：0° ～ 180° (自動)
- ・ 表面自由エネルギー解析：
1成分計算：酸-塩基、Kaelble-Uy、
Kitazaki-Hata、Owens-Wendt、Wu
相互作用：Young-Duple
臨界面張力：Zisman

料 金：1,000円/時間